

# 国語国文論集

## 第 5 4 号

### 【論文・年譜】

『為頼集』哀傷歌にみられる歌語の享受と展開

——第八二・八三番歌の唱和を視点として—— ……………古瀬 雅義… 1

岡本かの子「鶯の門」「快走」「娘」考

——魅入られた人々（二）——……………外村 彰… 11

続続・石垣りん年譜

——石垣りん自身の著作を参考にして（完）——…………竹中 典子・西原 大輔… 21

### 【彙報】

・安田女子大学日本文学会 2022年度研究発表会 …………… 31

・2023年度日本文学科卒業論文題目 …………… 31

・2023年度書道学科卒業論文題目 …………… 35

### 【論文】

書写における効果的な筆使い指導法の一提案

——「4段階スモールステップ学習」と「空書き」の活用——…………藤井 浩治…（1）

2 0 2 4

安田女子大学日本文学会

## ◇編集後記

『国語国文論集』第五十四号をお届けします。今回は、論文三編、年譜一編の計四編を掲載することができました。今回は、論文三編、年譜一編の計四編を掲載することができました。今回は、論文三編、年譜一編の計四編を掲載することができました。

今号にも、卒業生会員から一編のご投稿がありました。卒業生会員の投稿が続くことで、日本文学会が更に発展いたします。ご投稿をお願いいたします。

二〇二三年五月に新型コロナウイルス感染症の扱いが五類に移行いたしました。大学内でも、五月以降、マスクを外す方が増えました。安田女子大学では、コロナ禍の中でも、対面で講義を行うことを基本としております。顔からマスクがなくなったことで、まさに対面で講義が行えるようになりました。顔と声が一致せず、最初は戸惑いましたが、今では、その戸惑いもなくなりました。

二〇二三年度安田女子大学日本文学会の研究発表会は、二〇二四年二月十七日(土)に会員以外にも公開して開催いたします。ご参加をお待ちしております。

次号についても、多くの投稿をお待ちしております。会員の皆様のご活躍とご健勝をお祈りいたします。

(島田)

### 第五十四号投稿論文査読者氏名(敬称略 五十音順)

内田誠一・島田大助・田中宏幸・谷口邦彦・外村彰・中尾康朗・信廣友江・吉目木晴彦

### 『国語国文論集』第五十五号原稿募集

『国語国文論集』では原稿を募集しています。分量は四百字詰原稿用紙で、三十枚程度でお願いします。締め切りは二〇二四年十月一日(火)、提出先は日本文学科事務室です。査読の関係上、投稿原稿に氏名・所属または現職は記載せず、二部提出してください。また、USB・CDなどの電子記録媒体の提出もお願いします。

その他、投稿の詳細については、『国語国文論集』投稿規定(36頁)をご覧ください。

## 国語国文論集 第五十四号

令和六年一月三十一日 印刷  
令和六年一月三十一日 発行

編集者 安田女子大学  
日本文学会

国語国文論集編集室

郵便番号 七三一〇一五三  
広島市安佐南区安東六丁目十三一  
振替 〇一三三〇一七二四八五〇

印刷所 レタープレス株式会社

ISSN 0287-5853

Kokugo kokubun ronshū (Hiroshima. 1970)

No. 54 (2024. 1. 31.)